

他団体との連携に関する情報

登録番号	団体名	(N) たすけあいサポート アイアイ
812		
1. 他団体との連携の希望	連携したい	
2. 連携を希望する相手	町内自治会・地域運営員会 行政 企業 他の市民活動団体 学校	
3. 連携する場合、団体が提供できるもの（こと）	スキルを持った人材を派遣できる。 知識やノウハウを提供できる。 その他 〔地域の課題解決のための話し合いなどに参加し、これまでの経験などからの話ができる〕	
4. 他団体と連携する際、相手方に費用負担を求めるか	求めない	
5. 他団体と連携した実績（事例）や今後連携する予定	連携相手（団体等の名称）	連携内容
	行政	千葉市の生活支援コーディネーターを受託していた。2016年10月～2019年3月迄 それ以前には団地における階段昇降機の必要性について県・市・自治会など関係者による懇談会を2回行った
	他のNPO・福祉法人	千葉市たすけあい活動連絡会(20団体)、磯辺の4NPOによる福祉テーブルによる、福祉マップの作成、イオンスタイルでのNPOフェアの実施
	町内自治会	生活支援コーディネーターとして地域のささえ会い活動の立ち上げを支援した。(高浜5丁目、磯辺5丁目)
6. 他団体と連携して行いたい取組の内容	連携相手	連携して行いたい取組の内容
	他のNPO	まちづくり,リタイア後の有償ボランティア生活を他のNPOと連携してプログラムする
	福祉法人	増えている空き家を利用したお泊りのできる施設
7. 他団体と連携することについての考えや、連携する際の課題など。	NPOは自分の団体の運営に汲々としており、中々他団体との連携迄考えが及ばない面もあるが、行政や自治会にない自由な発想もあり、運営の安定さえ確保すればまちづくりへの視点は持っているところが多いと思う。ある意味ではそうした視点の無いNPOはメンバーの高齢化などにより、役目を終えて退場していくことになると思う。とにかく開かれた組織であることが重要	